

西濃桃李高等学校 通信教育実施計画

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2	単位
対象学年	第 1 学年					
授業担当者						
使用教科書	東京書籍 家庭基礎	副教材	使用しない			
スクーリング	必要出席時間数	2 単位 × 1 = 2 時間以上	スクーリングとレポートを両方合格すること で履修が認められる。			
レポート	必要提出枚数	2 単位 × 3 = 6 枚				
期末試験	合格得点目標	30 点以上	考査範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件			

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を養う。	様々な人と協働し、より良い社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活充実を図ろうとする実践的な態度を養う。

【年間指導計画】※学習方法欄の○は週 5 週 3、□は週 1 在宅・配当時間は週 5 生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート (×切期日)	評価の観点			配当 時間
		スクーリング	レポート	試験		知	思	主	
4	第 1 章 生涯を見通す 第 2 章 人生を作る	○	○□		No. 1 5/13	○	○	○	3
5	第 3 章 子どもと共に育つ 第 4 章 超高齢社会を共に生きる 第 5 章 共に生きる	○	○□		No. 2 6/17	○	○	○	4
6	第 6 章 食生活をつくる	○□	○□		No. 3 7/15	○	○	○	4
7	前期の復習	○□	○□			○	○	○	3
8	前期期末対策								1
9	前期期末試験 第 7 章衣生活をつくる	○	○□	○□	No. 4 10/3	○	○	○	4
10	第 8 章 住生活をつくる	○	○□		No. 5 10/28	○	○	○	4
11	第 9 章 経済生活を営む	○□	○□		No. 6 12/9	○	○	○	4
12	後期の復習	○□	○□			○	○	○	2
1	学年末末試験対策	○	○□			○	○	○	1
2	学年末末試験 第 10 章 持続可能な生活を営む	○	○□	○□		○	○	○	4
3	第 11 章 これからの生活を創造する 1 年の総復習	○	○□			○	○	○	4

